

巻頭言

第24回断層映像研究会を開催して

町田 喜久雄

●第24回断層映像研究会を開催して

歴史ある、第24回断層映像研究会を、10月18日、19日にわたり大宮市のソニックシティで開催しましたが、全国から熱心な研究者にご参加を頂き、教職員一同感謝しております。

現在放射線科医が取り扱う画像、すなわちX線CT、MRI、超音波、SPECT、PETは断層映像であります。これらについて総合的に検討を加える研究会である点で、本研究会は貴重な存在であろうと存じます。

今回はシンポジウム、一般演題に力を入れたのももちろんですが、教育講演にも力を入れました。プログラムをご覧頂ければ、お分かりと思います。また、その演者には、権威ある先生方をお願いすると同時に、明日を担う若い方にもお願い致しました。

ご協力して下さった方々に、改めてお礼申し上げます。

●小さな集会の存在意義

学術集会には、北米放射線学会 (RSNA)、日本医学放射線学会、核医学会のような大きな学会もあれば、本研究会のように、1ないし2会場で開催することのできる小さなものもあります。大きくなればな

るほど官僚的になり、個人の意見が反映されなくなります。これに対して、小さな集会は、家族的な雰囲気の中に開催することができる利点があります。

また、大きい会場も必要とせず、地方でも容易に開催することができます。それに、主催者の意向や会員の意向も反映されやすくなります。

また、一つのテーマにじっくりと取り組むことができる利点もあります。

大事なのは、内容ではないでしょうか。同好の士が年1回集まると言うだけでも十分の価値があると思います。

この点から見ますと、本研究会は極めて有意義な研究会であろうと存じます。

●第25回断層映像研究会

次回の本研究会は、1996年10月11日、12日に、福岡市において、九州大学の増田康治教授の会長で開催されます。

研究会から学会に名称変更すると言う話もあるようなので、多数の参加が期待されます。

(埼玉医科大学総合医療センター

放射線科学教室教授)